ROTHENBERGER

銅管工具

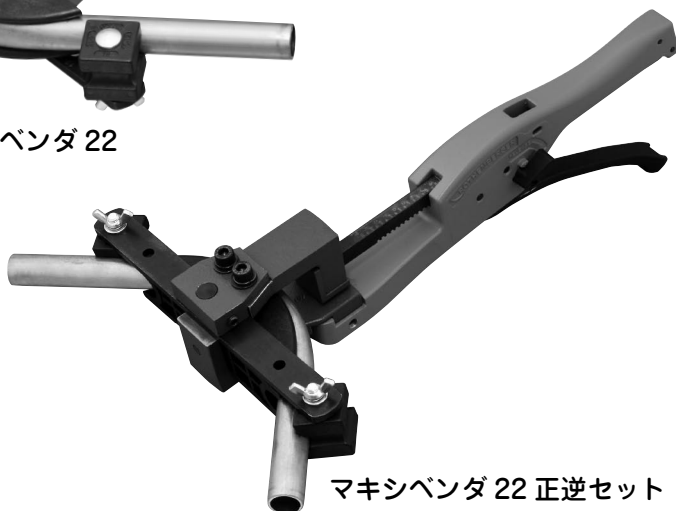
マキシベンダ

取扱説明書

マキシベンダ 22

マキシベンダ 22 正逆セット

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1104

マキシベンダ

安全にご使用いただくために

このたびは、マキシベンダをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の 3 つのレベルに分類されます。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

安全上のご注意 2
製品の構成 3
　各部の名称 3
　仕様 4
　標準付属品 4
使用方法 5
　マキシベンダ 22 5
　マキシベンダ 22 正逆セット（逆曲げ）.......... 5

安全上のご注意

● ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。

● 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

▲ 注 意

＜事故防止のために＞

◆工具箱は、お子様の手の届かない乾燥した場所に保存してください。

◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には、絶対に触らせないでください。

◆作業代、作業場所は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能率アップにもつながります。

＜本機の損傷を防止するために＞

◆軟質銅管以外は使用しないでください。
本体が損傷する原因になります。

＜ケガや本機の損傷を防止するために＞

◆本取扱説明書に指定された用途以外に使用しないでください。

◆本機の能力を超えた作業はしないでください。

◆ネクタイをつけたり、そで口を開いたまま作業しないでください。

◆無理な姿勢での作業は危険です。
常に足場をかため身体の安定を保ってください。

＜銅管の変形やしわを防止するために＞

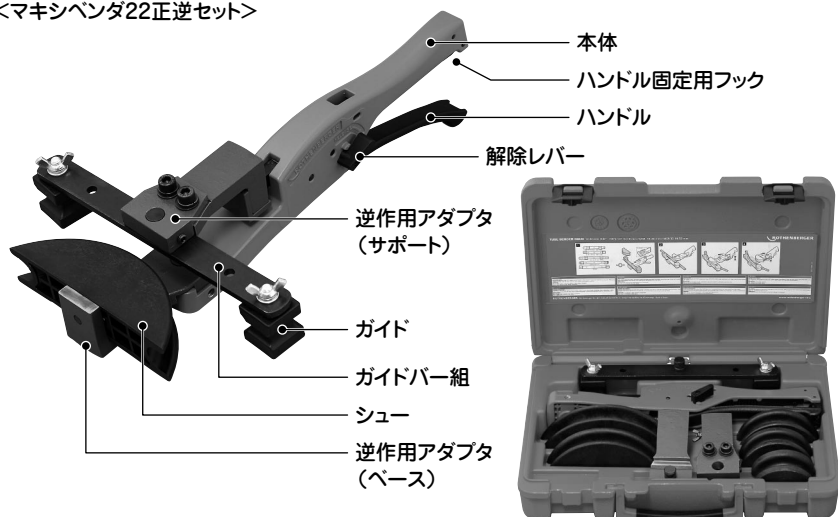
◆本取扱説明書に指定された肉厚以下の銅管を使用しないでください。
銅管が変形したり、しわができますので、使用する前に銅管の肉厚を確認してください。

マキシベンダ

製品の構成

各部の名称

ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。

ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。

仕　様

<table>
<tr><td colspan="2">品　名</td><td colspan="3">マキシベンダ22</td><td colspan="2">マキシベンダ22正逆セット</td></tr>
<tr><td colspan="2">コードNo.</td><td colspan="3">R23022A</td><td colspan="2">R23020A</td></tr>
<tr><td colspan="2">曲げ角度</td><td colspan="5">～90°</td></tr>
<tr><td rowspan="2">曲げ能力</td><td>インチ</td><td>3/8"</td><td>1/2"</td><td>5/8"</td><td>3/4"</td><td>7/8"</td></tr>
<tr><td>mm</td><td>φ 9.52</td><td>φ 12.70</td><td>φ 15.88</td><td>φ 19.05</td><td>φ 22.22</td></tr>
<tr><td colspan="2">銅管の厚さ（最小）</td><td>0.76mm</td><td>0.8mm</td><td>0.8mm</td><td>1.0mm</td><td>1.0mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">曲げ半径</td><td>35mm</td><td>35m</td><td>49mm</td><td>74mm</td><td>87mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　量</td><td colspan="3">3.2kg</td><td colspan="2">4.3kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">大きさ</td><td colspan="5">（L）345 ×（W）250 ×（H）70mm</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="7">適応銅管</td><td colspan="5">軟質銅管（3/8"～7/8"）</td></tr>
<tr><td colspan="5">被覆銅管</td></tr>
<tr><td>メーカー</td><td colspan="2">品　名</td><td>銅管サイズ</td><td>シューサイズ</td></tr>
<tr><td>住友</td><td colspan="2">プリゾールチューブP</td><td>1/2"</td><td>7/8"</td></tr>
<tr><td>コベルコ
マテリアル</td><td colspan="2">サーモエコーSD</td><td>1/2"</td><td>7/8"</td></tr>
<tr><td>古河電工</td><td colspan="2">サーモインチューブSE（N）</td><td>1/2"</td><td>7/8"</td></tr>
<tr><td>各社</td><td colspan="2">日本水道管協会規格
水道用被覆銅管＜P型＞
（神戸サーモエコーPを除く）</td><td>1/2"</td><td>7/8"</td></tr>
</table>

※シューサイズは、冷凍機用銅管の表示です。

標準付属品

品　名	コードNo.	マキシベンダ22	マキシベンダ22 正逆セット
マキシベンダ22本体	R23032A	●	●
ガイドバー組22	R23001A	●	●
シュー3/8"	R23010	●	●
シュー1/2"	R23011	●	●
シュー5/8"	R23012	●	●
シュー3/4"	R23013	●	●
シュー7/8"	R23014	●	●
マキシベンダ22プラスチックケース	R23097	●	●
逆作用アダプタ マキシ22用	XP749	－	●
取扱説明書	IM0047	●	●

マキシベンダ

使用方法

マキシベンダ 22

⚠ 注 意

◆本機は、軟質銅管（O）専用です。硬質管（H）及び半硬質管（1/2H）は、ご使用できません。

そのままご使用になりますと本体が故障したり、銅管が折れ曲がります。

① ハンドル固定用フックを外してください。（図 1）

② ガイドバー組と使用する管のサイズのシューを本体に取付けます。（図 1）

③ ガイドを使用する管のサイズに合わせます。管を両サイドに当て、ハンドルを握ってシューを前進させます。（図 2）

※ 被覆銅管の場合、被覆層は剥がさずに曲げ加工してください。

④ 希望する曲げ角度になるまでシューを前進させてください。（図 3）

⑤ 曲げ作業が終了後、解除レバーを矢印方向に下げてシューを引き戻します。（図 4）

⑥ 管をシューから外します。

※ 管と本体をつかみ、管を本体から離す（水平方向）と、管は容易に外れます。

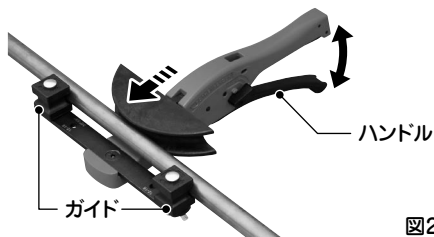
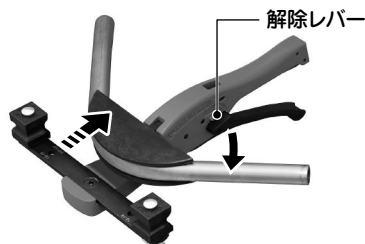
⑦ 本体をケースに収納する場合は、ハンドルを閉じてフックで固定してください。

図1

図2

図3

図4

使用方法

マキシベンダ 22 正逆セット（逆曲げ）

⚠ 注 意

◆本機は、軟質銅管（O）専用です。硬質管（H）及び半硬質管（1/2H）は、ご使用できません。

そのままご使用になりますと本体が故障したり、銅管が折れ曲がります。

① ハンドル固定用フックを外してください。

※ 逆作用アダプタ組を使用します。

② サポートを芯棒にセットし、蝶ボルト A を締めます。（図 5）

③ ベースを本体先端の穴に差込んで溝にはめ込みます。（図 5）

④ ガイドバー組のピンをサポートの穴に差込み、固定します。（図 5）

⑤ 使用する管サイズに合ったシューをベースに取付けます。（図 5）

図5

図6

⑥ ガイドのサイズと管のサイズをシューと向き合うように合わせます。

※ ガイドは 5/8” 以下をガイドバー内側の穴に、3/4” 以上は外側の穴に取付けます。

⑦ 管を両ガイドに当て、ハンドルを握ってガイドを前進させます。（図 6）

⑧ 希望する曲げ角度になるまでガイドを前進させてください。（図 7）

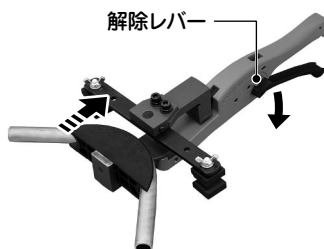
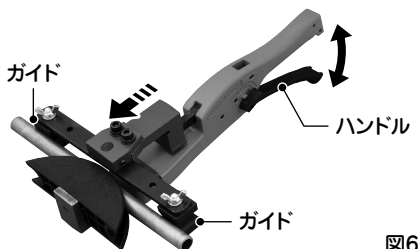
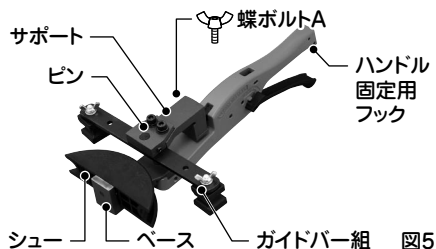
図7

⑨ 曲げ作業終了後、解除レバーを矢印方向に下げて、ガイドバー組を引き戻します。（図 8）

⑩ 管をシューから外します。

※ 管と本体をつかみ、管を本体に近づける（水平方向）と管は容易に外れます。

⑪ 本体をケースに収納する場合は、ハンドルを閉じてフックで固定してください。

図8

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada
アサダ株式会社

本　　社／名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　　店／東京・名古屋・大阪
営 業 所／札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社　（バンコク）
台湾浅田股份有限公司　（台北）
アサダ・アーロンコ マシナリー社　（クアラルンプール）
アサダ・ベトナム社　（ホーチミン）
上海浅田進出口有限公司　（上海）
アサダトレーディング USA　（オレゴン州・ユージン）

工　場
犬山工場　（愛知県・犬山市）
第一精工株式会社　（松阪市）
アサダ・マシナリー社　（バンコク）

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-114510（イイシゴト）
〈受付時間〉AM9:00～12:00　PM13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

www.asada.co.jp

コード No. IM0047　PRINT No. 110200A